

第2回高田西小学校学校運営協議会
議事録

日時 令和8年8月3日
14:30～15:30

会場 高田西小学校会議室

参加者：学校運営協議会委員（相羽ひろみ、野崎治夫、栗原政義、小笠原栄子、中嶋美和、佐藤直美、長谷川校長）、布施教頭、飯野教諭、笹川教諭、山田教諭、大野教諭、瀧澤教諭、林教諭、川住教諭、矢野教諭

1 開会の挨拶（相羽ひろみ副会長）

数少ない会なので、積極的な意見交換をして有意義な会になるようにご協力をお願いします。次回は、授業参観を希望する。

2 校長挨拶（長谷川和彦校長）

1学期は、74日間の教育活動が無事終えることができた。水泳の学習が数回中止となったが、夏休みを迎えることができ安堵している。1学期の教育活動の成果、課題をこの会でお話いただき、2学期からの教育活動に生かしていきたい。委員の皆様のご協力をお願いします。

3 協 議

（1）前期学校評価（3プロジェクトの取組）についての成果と課題 ＊各部 15分

〈涙もて〉**成果**：学校全体に騒がしさが減り、安心して穏やかに生活する雰囲気を感じられるようになった。

全校SSEの成果も大きい。今年度から全校で集まって、共通の指導ができたことが高評価に繋がっている。

課題：言葉の乱暴さが全校全体にある。指導の徹底を繰り返していく必要がある。（煽る言葉、態度からのトラブルがどの学年にもあった）

〈夢もて〉**成果**：・「いきいきとやりぬく子」の重点目標を基に、学習ルールができ、落ち着いて学習に向かえる子どもたちが増えた。

・日常の授業の中に、「自己決定、自己選択」の場を設定し、担任が授業改善に臨んでいることが高評価につながっている。

※〈訂正〉②児童アンケート7→8に変更

課題：分かる授業を教師が目指し、学力の定着を図っていく必要がある。各教師が考えた「一人一実践」を行いながら、授業改善を続けていく。

〈汗もて〉**成果**：児童が安心して協同的に取り組める運動を取り入れた授業改善、学校の中の遊び場作りなどが、運動が好きな児童を増やした。

課題：「家庭でのメディアのやくそく」が児童も78.2%、保護者が55.3%と著しく低い。「家庭でのメディアのやくそく」について、適切なメディアの約束を親子で決められる授業を行っていく。

（2）生活科及び総合的な学習の時間の取組状況と今後の課題 ＊25分

＊学年主任が説明

(3) 全体を通しての情報交換 *20 分

- 仲間と共に活動することが学習を深める。これからも仲間と学習や活動する体験学習を進めてほしい。
- 「ありがとうの木」が幹だけの時に見た。充実してきているのを楽しみに、帰りに見に行きたい。「メディアのやくそく」の目標値は、いつも課題になる。数値目標や約束の内容の見直しも必要になるのではないか。身の回りに、メディアが溢れている昨今だからこそ見直しをしてはどうか？
- 子供たちは、自己肯定感が高いと思う。子供の自己肯定感をどんどん高まるような学校教育を進めてほしい。表現力も含めて、失敗を怖がらず色々挑戦できる子供たちになってほしい。
- 自主学習を進めていく取組がとてもよいと思う。どんどんやってほしい。
- 保護者アンケート5から9のアンケートは、学校の先生はどう感じているのかなと思うことがある。「学校が楽しい」とか先生方はどう感じているのかが知りたい。
→担任達は、アンケートの数値が低い子どもたちの個人名をはっきりさせ、支援している。
- こどもの家で子供と接するが、あいさつは無視しているように感じる。あいさつが返ってこないので残念である。
→地域でのあいさつについて、この会が情報の発信源になってほしい。

4 今後の予定 *教頭から説明のみ

5 その他
なし

6 閉会の挨拶（野崎治夫後援会長）

夏休みも入り、元気に子供たちは遊んでいる。こどもの家の管理者は、用水で遊んでいる子供に水の事故が起きないか心配している。注意しても言うことをきかない。元気に過ごしているが心配はある。夏休みの最後まで元気に過ごしてほしい。